

エア

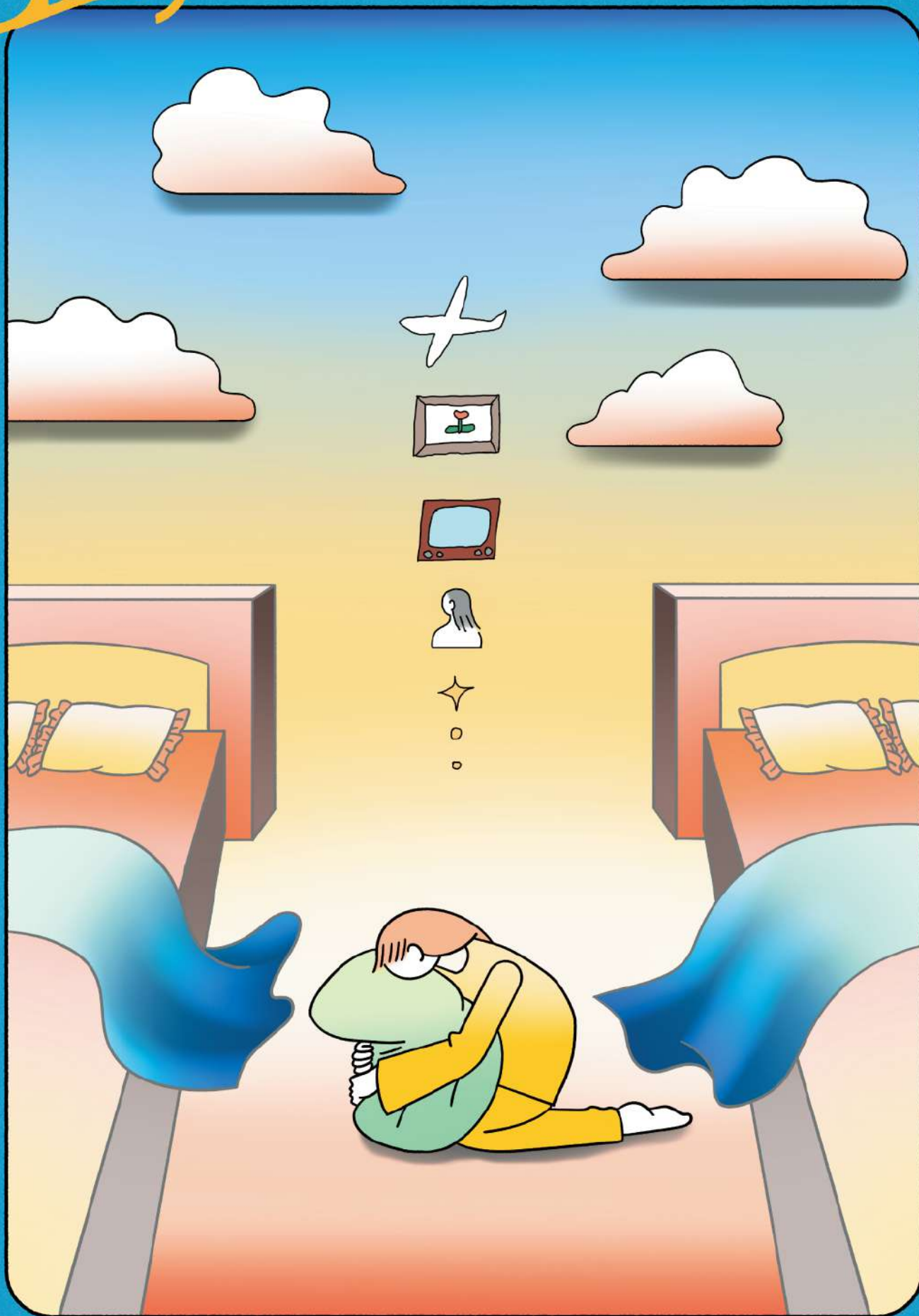
知らない人の
胸の中で
ねむりたくなる

ブルーエガナ

KACパートナーシップ・プログラム

作・演出 ― 穴迫信一

出演 ― 野村明里 小関鈴音 増田知就 御厨亮 菅一馬 黒澤あすか



KYOTO 2026.2.27—3.1 KYOTO ART CENTER

TOKYO 2026.3.19—22 MORISHITA STUDIO

知っている人と 知らない人を 同じように 大切にできるか

エア

ね 胸 知
む の ら
り 中 な
た て い
く 人
な の
る

私はいま「知らない人」に関心を持っています。

飛行機が離陸する、その一瞬の臨死体験の中で、隣に座る他人の温度や存在によって、ふと落ち着きを取り戻すようなことがあります。私は、日々の生活においても、他者とそのような安心感の中で生きていく術がないかと考えています。現代では内と外が強く意識され、分断は深まっていますが「知らない人が知っている人になりえること」、その細やかなグラデーションを見落としたくありません。

タイトルの『エア』には、空気のように内と外を往来し、誰の身体にも平等に漂うイメージを託しました。日々社会は清浄／正常化され、より衛生的であることが求められる一方で、その裏にある犠牲を誰かが引き受けているとしたら、それは不寛容をさらに強めているかもしれません。本作は、社会をただ眺めているだけでは寄り添うことのできない人がいたとして、その人たちとの連帯を信じるための物語です。主人公の青年は「知っている人と知らない人を同じように大切にすることができるか」という、無謀ともいえる問いを抱え続けます。しかし青年の、現実へのアクションは、おそらくいつかの私たちに小さな希望を与えるものとなるでしょう。ひとまず、その光を信じて作ります。

〈本作に寄せて〉穴迫 信一

KYOTO 京都公演 KACパートナーシップ・プログラム2025

2026	2/27金	2/28土	3/1日
	19:00	14:00 ① 19:00 ②	14:00

◆受付は開演の45分前。開場は開演の30分前。[全4ステージ] ①②アフタートーク

京都公演
チケット
取扱い



R7 TICKET
SERVICE

〈当日精算〉



会場 京都芸術センター 講堂

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2

- ▶JR「京都駅」から地下鉄丸太線に乗り換え「四条駅」下車、22・24番出口より徒歩5分
- ▶阪急京都線「烏丸駅」22・24番出口より徒歩5分
- ▶京阪本線「三条駅」から地下鉄東西線に乗り換え「烏丸御池駅」下車、4番出口より徒歩10分
- ▶市バス「四条烏丸駅」下車、徒歩5分(3、5、201、203、207系統など)



TOKYO 東京公演

2026	3/19木	3/20金	3/21土	3/22日
	19:30	14:00 ③ 18:00	14:00 18:00	14:00

◆受付・開場は開演の30分前。[全6ステージ] ③アフタートーク

東京公演
チケット
取扱い



R7 TICKET
SERVICE

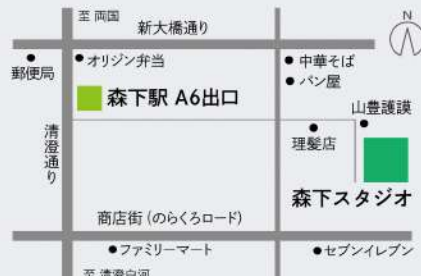
〈当日精算〉



会場 森下スタジオ Cスタジオ

東京都江東区森下3丁目5-6

- ▶都営新宿線、都営大江戸線「森下駅」A6出口 徒歩5分
- ▶東京メトロ半蔵門線、都営大江戸線「清澄白河駅」A2出口 徒歩10分



アフタートーク [各回の終演後にゲストとのアフタートークを実施します。]

ゲスト ◆敬称略 ①[2/28・14:00] 山口茜 (劇作家、演出家、サファリ・P/トリコ・A主宰) ②[2/28・19:00] 和田ながら (演出家、したため主宰) ③[3/20・14:00] 丘田ミイ子 (文筆家)

料金 前売料金 一般 3,500円 [当日料金500円増]

U30 2,500円 [当日料金500円増]

U22 1,000円 (各回数量限定)

初日割引 [京都2/27] [東京3/19] 一般2,500円 U30 2,000円

前半割引 [東京3/20 14:00|18:00] 一般3,000円 U30 2,000円

両公演共通

- ◆上演予定時間 90分程度 ◆全席自由席 ◆未就学児入場不可
- ◆車椅子のお客様は egonaku@gmail.com (制作部) まで事前にご連絡ください。
- ◆チケット発売日 12月15日(月) 12:00~

お問い合わせ (ブルーエゴナク制作部)

egonaku@gmail.com 090-6299-5590

舞台監督 北方こだち (京都公演)

村田瞳子 (東京公演)

照明 魚森理恵

衣装 岡藤隆弘

舞台美術・アドバイザー dot architects

稽古撮影・公演撮影 脇田友 (スピカ)

イラスト millitsuka

デザイン 岸本昌也

制作 渡邊裕史 (京都公演)

黒澤たける (東京公演)

主催・企画・製作 ブルーエゴナク

協力 スピカ 白いたんぼ ソノチ 合同会社nochi

共催 京都芸術センター (公益財団法人京都市芸術文化協会)

助成 公益財団法人セゾン文化財団

京都府文化力チャレンジ補助事業
京都市「Arts Aid KYOTO」補助事業

アーツサポート関西

福岡県「新進気鋭の芸術家活動支援事業」

公益財団法人セゾン文化財団



Arts Support Kansai

ブルーエゴナク

北九州、京都、東京の三都市を拠点に、普遍的かつ革新的な演劇作品の創作をコンセプトに活動。リリックを組み込んだ戯曲と、発語や構成に渡り音楽的要素を用いた演出手法が特徴。創作のテーマに「現在の生を乗り越えるための死と未来について」を掲げ、悠久の時間をそこにある多くの死とともに語るべく作品を制作する。主な作品にTOKAS OPEN SITE 5 オーディオ作品『Coincide 同時に起こること』(2021) THEATRE E9 KYOTOアソシエイトアーティスト公演として京都・横浜にて上演した『たしかめようのない』(2024) 森下スタジオにてリクレーションを行い東京と北九州にて上演した『変身』(2024-2025) などがある。代表の穴迫が公益財団法人セゾン文化財団セゾン・フェロー。THEATRE E9 KYOTO第3期アソシエイトアーティスト。2024年にはKYOTO EXPERIMENT 2024にて『スタンドバイミー』を発表。



撮影: 岩屋俊一



『変身』(2025.1) 撮影: 金子堂帆